

Ⅷ. 教職課程 履修の手引き

1. 教職課程科目

本学で中学校・高等学校教諭（保健体育）の免許状を取得するには、次表の①～④を修得しなければなりません。

科目区分	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
教科及び教科の指導法に関する科目 ……①	38 単位以上	38 単位以上
教育の基礎的理解に関する科目等 ……②	34 単位以上	30 単位以上
大学が独自に設定する科目 ……③	2 単位以上	2 単位以上
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 ……④	8 単位	8 単位
合 計	82 単位以上	78 単位以上
うち卒業要件に含まれないもの	36 単位	32 単位

① 教科及び教科の指導法に関する科目 【表 A 参照】

教科（保健体育）の内容に関する専門的知識やその指導法を修得するための科目です。人間健康学科の専門科目の一部がそれに該当します。

② 教育の基礎的理解に関する科目等 【表 B 参照】

学校教育に関する広範囲の専門知識（教科内容以外）を修得するための科目です。

③ 大学が独自に設定する科目 【表 C 参照】

「教科及び教科の指導法に関する科目」「教育の基礎的理解に関する科目等」のどちらにも該当しませんが、教職課程の科目としてふさわしいと思われる科目が各大学独自に設定されています。

④ 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目 【表 D 参照】

日本国憲法、体育、外国語コミュニケーション、情報機器の操作に関する科目です。

2. 履修上の注意

以下に示す科目は、人間健康学科の卒業要件（卒業に必要な 124 単位）には含まれません。学科の卒業要件とは別に、追加で単位を修得する必要があります。

卒業要件に含まれない科目

① 【表 A】：「保健体育教育法 I」、「保健体育教育法 II」

② 【表 B】：以下の 3 科目を除く全て

「教育学概論」、「教育心理学（教育・学校心理学）」、「教育相談（中・高）」

③ 【表 C】：「道德教育の指導法（中学校）」

※これらの科目は各学期の履修登録の上限（24 単位）の適用外となり、24 単位を超えて履修することができます。

3. 教職課程科目一覧

【表 A：教科及び教科の指導法に関する科目】

免許法施行規則に定める科目区分		本学における免許状修得に必要な最低修得単位数	本学における科目名	教職課程における必修・選択の別	単位数	配当年次	開講期	
教科に関する専門的事項	体育実技	38	総合野外活動実習Ⅰ	選必 ※1	1	2	前期	
			総合野外活動実習Ⅱ	選必 ※1	1	2	前期	
			総合野外活動実習Ⅲ	選必 ※1	1	2	後期	
			トレーニング実習	必修	1	2	後期	
			専門スポーツ実習（器械運動）	必修	1	1	前期・後期	
			専門スポーツ実習（陸上競技）	必修	2	1	後期	
			専門スポーツ実習（水泳）	必修	1	2	後期	
			専門スポーツ実習（球技）	必修	2	2	後期	
			専門スポーツ実習（剣道）	選必 ※2	1	2	前期	
			専門スポーツ実習（柔道）	選必 ※2	1	3	前期	
			専門スポーツ実習（ダンス）	必修	1	2	後期	
	「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学」及び運動学（運動方法学を含む。）		スポーツ原理	選必 ※3	2	1	後期	
			スポーツ心理学	選必 ※3	2	2	前期	
			スポーツ社会学	選必 ※3	2	2	前期	
			バイオメカニクス	必修	2	2	前期	
			トレーニング科学	必修	2	2	前期	
			コーチング論	選択	2	3	前期	
	生理学（運動生理学を含む。）		解剖生理学Ⅰ	必修	2	1	前期	
			運動生理学	必修	2	2	前期	
			解剖生理学Ⅱ	必修	2	1	前期	
	衛生学及び公衆衛生学		衛生学	必修	2	2	後期	
			環境保健論	選択	2	2	前期	
	学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）		学校保健	必修	2	3	後期	
			小児保健論	必修	2	1	後期	
			救急処置法	必修	2	2	前期	
	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む）		保健体育教育法Ⅰ	必修	4	3	前期	
			保健体育教育法Ⅱ	必修	4	3	後期	

※1 総合野外活動実習Ⅰ～Ⅲは3科目中1科目を選択

※2 専門スポーツ実習（剣道）と専門スポーツ実習（柔道）は2科目中1科目選択必修

※3 スポーツ原理、スポーツ心理学、スポーツ社会学は3科目中1科目選択必修

【表 B : 教育の基礎的理解に関する科目等】

免許法施行規則に定める 科目区分		本学にお ける免許 状取得に 必要な最 低修得単 位数	本学における科目名	単 位 数	必修 選択	配 当 年 次	開講期	備考
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	12	教育学概論	2	必修	1	前期	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論（中・高）	2	必修	1	後期	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育の制度と経営	2	必修	3	前期	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学（教育・学校心理学）	2	必修	1	前期	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論（中・高）	2	必修	2	後期	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論（中・高）	2	必修	2	前期	
道徳・総合的な学習の時間の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中一種 免：14 高一種 免：12	道徳教育の指導法（中学校）	2	必修	2	後期	中一種免のみ
	総合的な学習の時間の指導法		総合的な学習の時間の指導法（中・高）	2	必修	2	前期	
	特別活動の指導法		特別活動の指導法（中・高）	2	必修	3	後期	
	教育の方法及び技術		教育方法論（中・高）	2	必修	2	後期	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		情報機器の活用に関する理論と方法（中・高）	2	必修	2	後期	
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導論（中・高）	1	必修	3	前期	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談（中・高）	2	必修	3	前期	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法		進路指導論（中・高）	1	必修	3	前期	
教育実践に関する科目	教育実習	中一種 免：6	教育実習事前及び事後の指導（中・高）	2	必修	4	前期	※
		高一種 免：4	教育実習Ⅰ（中・高）	4	必修	4	前・後期	
			教育実習Ⅱ（高等学校）	2	選択	4	前・後期	
	教職実践演習	2	教職実践演習(中・高)	2	必修	4	後期	
合計			中学校教諭（保健体育）： 34 高等学校教諭（保健体育）： 30					

※「中一種」免許の場合は「教育実習Ⅰ」が必修

「高一種」免許の場合は「教育実習Ⅰ」または「教育実習Ⅱ」の選択必修

【表 C：大学が独自に設定する科目】

免許法施行規則に定める科目区分	本学における免許状修得に必要な最低修得単位数	本学における科目名	単位数	教職課程における必修または選択の別	配当年次	開講期	備考
大学が独自に設定する科目	2	社会福祉概論	2	必修	1	後期	
		道徳教育の指導法（中学校）	2	選択	2	後期	高一種免のみ

【表 D：教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目】

免許法施行規則に定める科目区分	本学における免許状修得に必要な最低修得単位数	本学における科目名	単位数	教職課程における必修または選択の別	配当年次	開講期
日本国憲法	2	憲法	2	必修	1・2	前・後期
体育	2	健康・スポーツ実習	2	必修	1・2	前・後期
外国語コミュニケーション	2	英語 I	1	必修	1	前期
		英語 II	1	必修	1	後期
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	2	PC・ネットワーク入門	2	必修	1	前期